

令和2年度 真志喜中学校 学校経営方針

1 学校経営の理念

近年、情報化やグローバル化といった社会変化が急速に進んでいる。その変化は、今後さらに加速し、生徒たちは予測困難な時代を生きることになると言われている。そのような時代にあっても、生徒たちが予測できない変化に対し、主体的に向き合っており、自らの可能性を發揮して未来社会を創り出す力が身につくようにと学習指導要領が改訂された。この学習指導要領に託された願いは、社会の願いでもある。

この願いに応えるため、学校においては、生徒の発達の段階を踏まえ、組織的・計画的・継続的な教育を行うことが肝要である。生徒一人一人に基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力の育成及び主体的に学習へ取り組む態度を養うことが大切である。また、豊かな心、健やかな体の育成など、「生きる力」を育む学習活動を教育活動全体で充実させることが重要であり、自らの個性を生かし社会の変化に主体的に対応できる能力や創造性の基礎を培い、国際社会を生き抜く人材を育成することが重要である。

2 本校教育の基礎

本校教育は、人間尊重・相互信頼の上に立ち、生徒の人格の完成、平和で民主的な国家及び社会の形成者の育成、教育の機会均等の実現を目指す。

3 本校の教育目標

「自ら学び、心豊かにたくましく国際社会を生きる生徒の育成」
～頭を鍛える・心を鍛える・体を鍛える～

4 目指す学校像・生徒像・教師像

教育目標の具現化を図るため、目指す学校像・生徒像・教師像を設定し、教育活動に取り組む。

<目指す学校像>

- (1) 生徒にとって楽しく居心地がよく、充実感や自己の存在感を実感できる学校
- (2) 生徒一人一人が個性や能力を發揮できる活気に満ちた学校
- (3) 生徒と教職員の心が融和する学校
- (4) 花が咲き、緑があり、心が和む清潔で美しい学校
- (5) 保護者、地域が喜んで学校行事等に参加協力できる学校

<目指す生徒像>

- (1) 自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を身につける生徒
- (2) 自ら課題を見つけ、主体的に判断し、よりよく問題を解決する生徒
- (3) 基本的な生活習慣を身につけ、規律正しい生活を送ることができる生徒
- (4) 相手の気持ちを理解し、相手の立場になって行動できる、思いやりのある生徒
- (5) 心身の健康の大切さを自覚し、健康で安全な生活を送ることができる生徒

<目指す教師像>

- (1) 教育への情熱や使命感をもち、生徒と共に伸びる教師
- (2) 絶えず研修に努め、授業で勝負する教師

- (3) 生徒理解に努め、生徒個々の良さを伸ばす教師
- (4) 服務規律を厳守し、教育公務員としての使命感、責任感のある教師
- (5) 生徒に慕われ、保護者・地域から信頼される教師

5 学校経営方針

- (1) 学校教育目標の具現化を目指し、教職員が個々の得意分野を生かし、学校経営に積極的に参画する。【全校体制による学校の特色を活かしたカリキュラムマネジメント】
- (2) 各主任等を中心に機能的な組織運営を行い、学校教育活動の充実を図る。
- (3) 生徒及び保護者による学校評価や教職員自己評価、諸調査等を通して学校課題とその対応策を明確にし、マネジメントサイクルに基づく学校経営の充実に努める。【社会に開かれた教育課程】

6 学校経営の重点

- (1) 「確かな学力」の育成【主体的・対話的で深い学び】
 - ① 各教科において、基礎・基本の習得を重視し、言語活動の充実を図るとともに、知識や技能を活用するなど課題を解決する思考力・判断力・表現力等を育成する。
 - ② 生徒の視点に立った「参加する・わかる授業」の充実により「確かな学力の向上」を育成するとともに、生徒一人一人に自己肯定感を育てる。
- (2) 「豊かな心」と「望ましいマナーや習慣」の育成
 - ① 学校教育活動全体を通して、生徒一人一人の頑張りや優しさに気づき、多面的に勇気づけ、自己肯定感や自己有用感を育成する。
 - ② 道徳教育の要として、心に響く道徳（「特別の教科道徳」）の時間の指導を充実させる。また、学校教育活動全体を通して道徳教育やキャリア教育の充実を図るとともに、礼儀やマナーを身につけさせ、規範意識を高め、「時を守り 場を清め 礼を正す」生徒を育てる。
- (3) 「健やかな体の育成」

生徒が自ら課題を見つけ目標を設定し、自発的・自主的な活動を通して運動やスポーツが好きになり、積極的に運動に親しむ資質や能力を育成する学習指導の工夫・改善を図る。また、運動部活動の活性化や適正化並びに体力の向上を図る取り組みを推進する。
- (4) 特別支援教育の充実

特別支援教育に関する校内支援委員会及び特別支援教育コーディネーターによる支援体制を整備し、生徒一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮を基に、教職員が一体となった組織的な取り組みを推進する。

7 令和2年度 本校指導の努力点

- (1) 生徒の視点に立った「わかる授業」（一歩踏み込んだ教科会・真志喜スタンダード）
- (2) 支持的風土に満ちた学級・学年・学校経営
- (3) 個に寄り添い・関係機関と連携した不登校対策・生徒指導
- (4) 合理的配慮による特別支援教育の充実
- (5) 生徒がよりよく育つ魅力ある生徒会・部活動

◎ 「教師の5つの意識」

- 1、どの生徒もできるようになりたいと願っているという意識
- 2、どの生徒も誰かと話したがっているという意識
- 3、あいさつ・環境美化・読書が教育活動の基礎であるという意識
- 4、報告・連絡・相談・確認が組織体制による学校運営の基盤であるという意識
- 5、学校課題のない学校はあり得ないという意識